

地方独立行政法人大阪府立病院機構 平成 19 事業年度の業務実績に関する評価結果（素案）作成に係る主な意見と記載内容

区分	病院部会における意見	記 載 内 容
2 全体評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2つの大項目については、着実に取り組まれており A 評価。財務内容の改善については、おおむね計画どおりであることを確認。これらを総合的に判断し、全体として A 評価。 ○ 資金収支差は目標を下回っており、中期目標期間内に不良債務を解消するための具体的な方策を明確にする必要があると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体評価は「年度計画及び中期計画のとおり進捗している」とし、委員会コメントとして、法人化 2 年目の医療面の着実な取組み、厳しい経営環境の中での努力は評価できるが、資金収支差が目標を下回っており、不良債務解消のための具体的な方策に期待する旨を記載。（2 ページ）
3-1 府民に提供するサービスその他の業務の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 評価すべき項目（Ⅳ評価）が多く、Ⅱ評価は理由にやむをえない面があり、一定対策もとられているため、全体としては計画どおり進捗しており A 評価。 ○ 臨床研究や治験、ホスピタルプレイスペシャリスト、NPO 法人の院内見学や病院ボランティア受入れなどの取組みは、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「評価結果と判断理由」に、Ⅳ評価が 11 項目あったこと、Ⅲ評価でも十分評価できる取組みがあること、またⅡ評価の 2 項目は理由にやむをえない面があり、一定の対策も講じられていることなどを記載。（5 ページ） ○ 「その他考慮すべき事項」（7 ページ）及び「評価にあたっての意見、指摘等」（8 ページ）に記載。
3-2 業務運営の改善及び効率化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前年同様、着実に取組みがなされており A 評価。 ○ 5 病院が 1 つの経営体として一層連携を深める必要がある。20 年度計画の資金収支差目標達成には具体的な方策が必要。財務内容の改善は重要だが、府民のための医療の提供という視点も十分考慮されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「評価結果と判断理由」に、SPD など法人化初年度からの取組が着実に進んでいることを確認したことなどを記載。（9 ページ） ○ 「評価にあたっての意見、指摘等」に記載。（10 ページ）
3-3 財務内容の改善	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資金収支は目標に達しなかったが 6.3 億円の黒字を確保し、不良債務解消は、おおむね計画どおり進捗。 ○ 今後 3 年間で不良債務 46.5 億円を解消するための道筋を明らかにし、固定経費の縮減も検討すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「進捗状況の確認結果」として、「おおむね計画どおり進捗している」と記載。（11 ページ） ○ 「進捗状況の確認にあたっての意見、指摘等」に記載。（12 ページ）